

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース		理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	後期	担当教員			松田 輝洋	
授業科目名		リハビリテーション医学		必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	30(1)	授業回数	15	
〔授業の学習内容と心構え〕												
臨床、地域リハビリテーション支援事業、国家試験予備校講師などに携わる理学療法士による講義で、疾病や外傷から派生する障害を正しく理解し、的確に障害へのリハビリテーションアプローチを選択できるようになるため、必ず復習をすること。												
〔到達目標〕												
2025年、団塊の世代が75歳以上となり医療・介護の需要が今以上に加速します。我が国の現状と制度を理解する。リハビリテーション医学の対象である疾患から派生する障害を理解する。その障害に対するリハビリテーションアプローチを理解する。												
〔使用教材、参考文献等〕												
リハビリテーション医学〔羊土社〕、配布資料												
回	〔授業概要〕		到達目標(できるようになること)									
1	オリエンテーション・リハビリテーション医学・医療の概要		国の現状を知る、障害、地域包括ケアシステム、介護保険など									
2	・リハビリテーション医学 予防・廃用症候群		廃用症候群がリハビリテーション医療において重要視されている理由を理解できる。									
3	・リハビリテーション医学 Frailty		Frailty、Sarcopenia、Locomotive syndromeが理解できる。									
4	・リハビリテーション医学 エネルギー代謝		無酸素性エネルギー代謝、有酸素性エネルギー代謝が理解できる。									
5	・リハビリテーション医学 エネルギー代謝		ケトン体 筋線維									
6	・リハビリテーション医学 栄養		リハビリテーション栄養について理解できる									
7	リハビリテーション医学疾患 脳神経		脳神経12対を理解できる。									
8	中間テスト 解説		テストにより効果測定を行い、習得できていないところを把握し、理解度を深める。									
9	リハビリテーション医学疾患 慢性腎臓病(CKD)		腎機能、糖尿病、透析治療、リハビリテーションが理解できる。									
10	リハビリテーション医学疾患 慢性腎臓病(CKD)		腎機能、糖尿病、透析治療、リハビリテーションが理解できる。									
11	・リハビリテーション医学 薬理学		リハビリテーション薬理学について理解できる									
12	・リハビリテーション医学 薬理学		リハビリテーション薬理学について理解できる									
13	リハビリテーション医学疾患各論 姿勢・歩行		抗重力姿勢や歩行周期が理解できる。									
14	リハビリテーション医学疾患各論 がん		良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、がん患者に対するリハビリテーションを理解できる。									
15	期末テスト 解説		テストにより効果測定を行い、習得できていないところを把握し、理解度を深める。									
〔評価について〕						〔特記事項〕						
評価は筆記試験で行う。 筆記試験は中間テスト(50点)と期末テスト(50点)の合計100点で評価する。評価は学則規定に準ずる。						毎授業必要に応じ配布プリントによる授業を行なう。						

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース 理学療法士科Ⅱ部  授業科目名  救急医学	学年  1	開講区分  前期	担当教員  森 洋行 先生	
必修・選択  必修	授業形態  講義	時間数(単位) 15(1)	授業回数 8	
〔授業の学習内容と心構え〕  ライフセーバーとして救命現場で実践活動の経験を積んだ教員が、救命現場の実際を交えながら授業を行う。ライフセービングの精神を理解することで単にBLS(Basic Life Support)の技術的な習得で完結するのではなく、大切な人の命を見つめ、社会復帰率の向上に貢献できるようにする。				
〔到達目標〕 生命教育を通じ、救急隊・医師へと引き継ぐまでの数分間の視点(バイスタンダー)をもって、救急救命を“知っている”という体験レベルから“生命を救うことができる”という実践レベルへ、質の高い知識と技術の習得を目指す。日本ライフセービング協会公認BLS資格を取得する。				
〔使用教材、参考文献等〕 「心肺蘇生教本」(日本ライフセービング協会) 教材:レザシアン、AED 参考図書:「AT専門課程テキスト・救急処置」JSPO			〔準備学習・時間外学習〕 授業で行ったことを反復練習により確実に身に付けられるようにする。自身の行動範囲においてAED設置場所を確認しておく。	
回	〔授業概要〕			到達目標(できるようになること)
1	オリエンテーション 心肺蘇生の意義と理論、気道異物除去			一次救命処置の重要性と救命の連鎖を理解する 心肺蘇生の意義と理論を理解する
2	心肺蘇生の実際			心肺蘇生の手順を習得する
3	治療の優先順位について AEDの必要性和操作手順、RICE処置			AEDの必要性を理解する
4	熱中症への対処と予防、心肺蘇生の実際 小児・乳児の一次救命処置			AEDの手順を習得する 小児・乳児の心肺蘇生を理解する
5	外傷時の救急処置1(創傷の種類と止血法) 心肺蘇生の実際			皮膚などに傷のあるけがの処置を習得する 救命率を上げる質の高い心肺蘇生を習得する
6	外傷時の救急処置2(熱傷)、運搬法 心肺蘇生の実際			救命率を上げる質の高い心肺蘇生を習得する
7	BLS資格実技検定及び解説、心肺蘇生の実際(2人法)、 新型コロナウイルス感染症を踏まえたBLS			正しい心肺蘇生の一連動作を実施する
8	期末試験、BLS資格学科検定			日本ライフセービング協会公認BLS資格を取得する
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
〔評価について〕 評価は期末試験(筆記60点)及びBLS資格検定(学科および実技40点)で行う。 評価は学則規定に準ずる。			〔特記事項〕 授業内だけでなく自主練習により技術向上に努めること。 動きやすい服装(女性はズボン着用)が望ましい。	

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース		理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	前期	担当教員			石川和美 先生		
授業科目名		ITリテラシー		必修・選択	必修	授業形態	実技	時間数(単位)	30(2)	授業回数	15		
<p>[授業の学習内容と心構え](実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)            大学、専門学校、企業、PCスクールでOffice系資格対策講座の実施経験があり、有資格者の教員が授業を実施します。            Windows(ハード)で、Micrisoft365(TEAMS=学校の授業資料のダウンロードや課題提出等、必要な操作が出来る。            Word=効率が良く効果的な文書作成する。Excel=様々な計算処理を行い必要書類を作成し、また顧客のデータを管理する。            PowerPoint=プレゼンテーションを作成し発表する。)を操作し、将来の仕事や学生生活において効果的に活用出来るように学習していきます。</p>													
<p>[到達目標]            学習を通じ、社会へ出た際、どのようなジャンルの仕事であっても、事務処理に困らないためのスキルを習得します。操作をマスターし、さらに機能の理解を深め、将来自分自身の仕事に役立つ使い方が出来るよう学習していきます。また、学習を通じICT活用のマナーを習得していきます。</p>													
<p>[使用教材、参考文献等]            随時、必要に応じてプリント配布</p>													
回	[授業概要]		到達目標(できるようになること)										
1	Teamsの基本操作		自身のPC環境と学校のネットワーク環境について理解し、授業データのDL、小テスト、課題の提出等、OneDrive等、必要な操作が出来る。										
2	Word(online)の基本操作		Wordで文書を作成し編集・保存する事が出来る。作成した文書の保存が出来る。										
3	ビジネスメールの作成① ビジネスメールのマナーとメールの作成・送受信・添付ファイル1		ビジネスメールのマナーと正しいレイアウトがわかりメールを作成する事が出来る(送信・受信・転送)										
4	ビジネスメールの作成② 好感を持たれるメールの作成と送信・返信・転送・添付ファイル2		相手の状況に応じた気遣いのあるメールの文章を作成出来る/返信・転送のマナーがわかり、正しいマナーでメールを作成し送受信できる CC/BCCを理解し正しく活用する事が出来る										
5	小テスト(ビジネスメールの活用とマナー)		OfficeアプリのデータをPDFに変換しデータを添付ファイルを作成する事が出来る										
6	Word(online)の基本操作2 表現力をアップする機能(画像の挿入と編集) 文書の印刷 表作成機能		文書に画像を挿入し、編集が出来る 学習した機能を利用してチラシを作成出来る 作成した文書を印刷出来る										
7	ページ設定(用紙サイズの設定・余白の設定・印刷の向きの設定)ハガキ 作成 テンプレートの活用		必要に応じて、用紙サイズや余白、印刷の向きを設定出来る。学習した機能を利用し、指定された各種はがきを作成出来る(販促・お知らせ) テンプレートを活用し効率よく文書を作成する事が出来る										
8	小テスト(Word)図形描画機能		図形描画機能がわかり、自由に操作が出来る。 学習した機能を利用し、簡略地図が作成出来る/館内案内図を作成出来る										
9	Excel(online)の基本操作 表の作成と、関数の基礎(SUM関数/AVERAGE関数/MAX関数)		四則演算が出来る 基本の関数を活用出来る (SUM/AVERAGE/MAX関数)表に折区切りを設定出来る。表の書式を自由に変更する事が出来る(線の種類・セルの色・配置)										
10	グラフを作成する グラフ構成要素の書式の設定方法		どんな分析にどのようなグラフが必要かわかる(棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ)入力したデータから簡単な操作でグラフを作成出来る										
11	PowerPoint(online)の基本操作1 PP課題作成①		プレースホルダの編集・アニメーションの設定・ノートページの入力出来る。PowerPointで課題を作成出来る①										
12	PowerPointの基本操作2 PP課題作成②		PowerPointで課題を作成出来る② 課題を完成出来る										
13	小テスト(PowerPoint 課題を発表する)①		作成した課題を発表出来る①										
14	小テスト(PowerPoint 課題を発表する)②		作成した課題を発表出来る②										
15	期末試験実施		期末試験として課題を提出出来る。課題の発表が出来る 評価と評価の解説を実施する										
[評価について] 期末試験50% 小テスト50%で59%以下を不合格とする				[特記事項] OfficeはOnlineのアプリを使用する									

# 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース	理学療法士科Ⅱ部	学年	1	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	生理学Ⅰ	必修/選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	30(2)	授業回数	15
<p>〔授業の学習内容と心構え〕</p> <p>生理学Ⅰでは、外界の情報を得るための感覚器、外界の変化に対応して行動するための運動器と、両者の間に立って情報を処理し、運動を指令する神経系について学ぶ。解剖学では体の構造を学ぶのに対し、生理学は体の機能を知ることが目的とする。そのため生理学の学習は「覚える」ことより「理解する」ことが大切であることに注意して取り組んでほしい。</p>									
<p>〔到達目標〕</p> <p>ヒトが外界の情報を得るための感覚器、外界の変化に対応して行動するための運動器と、両者の間に立って情報を処理し、運動を指令する神経系についての基礎的事項を理解し、説明することができる。</p>									
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕				
標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版(医学書院)					授業前の予習として当日分の教科書を読んでおくこと。授業後はノートを整理し、「理解度確認テスト」に取り組むこと。				
毎回講義ノートを配布する									
回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)							
1	生理学で何を学ぶか	生理学の基礎的な用語について説明できる							
2	細胞の生理学(1)	細胞の構造と機能について説明できる							
3	細胞の生理学(2)	静止電位、活動電位、興奮の伝導について説明できる							
4	神経の生理学	神経系の機能とシナプス伝達について説明できる							
5	筋の生理学(1)	骨格筋、平滑筋の構造と機能について説明できる							
6	筋の生理学(2)	骨格筋収縮の特性、筋と運動について説明できる							
7	骨の生理学	骨の構造と機能について説明できる							
8	中枢神経系の生理学(1)	脊髄、脳幹の機能について説明できる							
9	中枢神経系の生理学(2)	小脳、間脳、大脳の機能について説明できる							
10	中枢神経系の生理学(3)	高次脳機能、伝導路・髄液の機能について説明できる							
11	感覚の生理学(1)	感覚の一般的特性と体性感覚について説明できる							
12	感覚の生理学(2)	視覚について説明できる							
13	感覚の生理学(3)	聴覚・味覚・嗅覚について説明できる							
14	生理学Ⅰ講義内容のまとめ	生理学Ⅰで何を学んだかを説明できる							
15	期末試験	期末試験による理解度の把握と解説							
〔評価について〕					〔特記事項〕				
評価は学則規定に準じ、理解度確認テスト(40点)と期末テスト(60点)の合計100点で評価する。					毎回の授業ごとに配布する講義ノートは、あくまで板書の代わりになるものであり、これを基に各自が自分のノートを作成すること。				

# 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース	理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	前期	担当教員		
授業科目名							田中 信一		
いのちの倫理	必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数	15	授業回数	8	

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

現在、人間の生命をめぐってどのような問題が生まれ、どのような議論があり、何が問われているのかを学び、医療における倫理観と患者やその家族の思いを推測できる力をつける授業を行なう。授業では、問われている内容を理解し、個人ワーク、グループ共有により理解を深めるため、積極的に参加してほしい。

〔到達目標〕

- ・いのちの「始まり」と「終わり」の間に起こる様々な問題に対し、患者、医療者、患者の家族の視点より推測できる。
- ・現代医療における生と死、医療の問題を説明できる。

〔使用教材、参考文献等〕

配布資料

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	倫理とはなにか。生命倫理の最初の問題あなたは、薬や医療設備が足りないとき、治療するひとを選んでもいいと思いますか。	倫理と道徳、法律との違いを区別できる。
2	いのちの終わりは誰がきめるのか。自己決定権、延命治療、安楽死、尊厳死、セデーション(鎮静)	生命の尊さを認識し、死に関わる倫理的問題を理解し、自分の考えを述べることができる。
3	いのちの始まりはいつか人工妊娠中絶、	生命の尊さを認識し、生命誕生に関わる倫理的問題を理解し、自分の考えを述べることができる
4	いのちの始まりはいつか出生前診断	生命の尊さを認識し、生命誕生に関わる倫理的問題を理解し、自分の考えを述べることができる
5	告知とインフォームドコンセント告知の是非について	告知における難しさを認識し、自分の考えを述べることができる。
6	こどもの医療、判断能力は誰が決めるのか。子どもの人権と親権 New トピックス	子どもの知る権利における難しさを認識し、自分の考えを述べることができる。
7	生体臓器移植一般の死と脳死の違いについて	臓器移植に関わる倫理的問題を理解し、自分の考えを述べることができる
8	総括	授業全体を通して学んだ内容を振り返り、授業内容に対する理解を深める。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

〔評価について〕

評価はレポートで行う。  
評価は学則規定に準ずる。

〔特記事項〕

出席:3コマ欠席にて単位なし

# 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース <b>理学療法士科Ⅱ部</b>	学年 <b>1</b>	開講区分	前期	担当教員 <b>中村 陽市</b>			
授業科目名  <b>解剖学Ⅰ</b>	必修・選択  <b>必修</b>	授業形態	講義	時間数(単位)	30(2)	授業回数	15
[授業の学習内容と心構え](実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)							
基礎医学の研究と教育に長年従事した医学博士が、今後医学的な知識を得るための基礎となる人体の正常な形態と構造をその機能と関連付けて教授する。解剖学で人体の基本構造を学習することは、今後の臨床医学にとって基礎となり理学療法アプローチにもつながるので集中して受講してほしい。							
[到達目標]							
理学療法士として必要・不可欠な人体の基本構造を学習し、消化器系・循環器系・呼吸器系についてその構造、形態的な特徴や機能を理解し、説明できることを目標とする。							
[使用教材、参考文献等] 教科書:標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 医学書院、配布プリント				[準備学習・時間外学習] 専門用語が多い科目のため講義後の復習を中心に名称や機能を理解することをが望ましい。			
回	[授業概要]			到達目標(できるようになること)			
1	総論、組織学			解剖学とは何か、身体を構成している組織について説明できる。			
2	骨格系、消化器系			骨の名称を覚え、消化器系の形態と機能を説明できる。			
3	消化器系: 口腔、咽頭			口腔・咽頭を説明できる。			
4	消化器系: 食道、胃			食道・胃の構造と機能を説明できる。			
5	消化器系: 小腸			小腸の構造と機能を説明できる。			
6	消化器系: 大腸			大腸の構造と機能と特徴を説明できる。			
7	消化器系: 肝臓、膵臓、胆嚢、腹膜			肝臓・膵臓・胆嚢・腹膜の構造と機能を説明できる。			
8	循環器系: 血管			血管(動静脈、毛細血管)の構造と機能と特徴を説明できる。			
9	循環器系: 心臓			心臓の位置、各部の名称、弁の機能を説明できる。			
10	循環器系: 心臓、動脈系			刺激伝導系、大動脈の名称を述べることができる。			
11	動脈系: 頭頸部に分布する動脈			総頸動脈から分枝する動脈の名称と機能を説明できる。			
12	動脈系: 上肢、下肢、腹部に分布する動脈			上・下肢、腹部に分布する動脈の名称と機能を説明できる。			
13	静脈系: 特殊循環系、胎生期の循環系			特殊循環系および胎児循環を説明できる。			
14	リンパ系			リンパ系の構造と機能を説明できる。			
15	期末試験						
[評価について] 小テスト(3回)30点満点+期末試験70点満点 で59点以下を不合格とする				[特記事項]			

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース 理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名		必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	30(2)	授業回数	15
解剖学Ⅰ									
<p>〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)</p> <p>基礎医学の研究と教育に長年従事した医学博士が、今後医学的な知識を得るための基礎となる人体の正常な形態と構造をその機能と関連付けて教授する。解剖学で人体の基本構造を学習することは、今後の臨床医学にとって基礎となり理学療法アプローチにもつながるので集中して受講してほしい。</p>									
<p>〔到達目標〕</p> <p>理学療法士として必要・不可欠な人体の基本構造を学習し、消化器系・循環器系・呼吸器系についてその構造、形態的な特徴や機能を理解し、説明できることを目標とする。</p>									
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕				
教科書：標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 医学書院、配布プリント					専門用語が多い科目のため講義後の復習を中心に名称や機能を理解することを望ましい。				
回	〔授業概要〕				到達目標(できるようになること)				
1	総論、組織学				解剖学とは何か、身体を構成している組織について説明できる。				
2	骨格系、消化器系				骨の名称を覚え、消化器系の形態と機能を説明できる。				
3	消化器系：口腔、咽頭				口腔・咽頭を説明できる。				
4	消化器系：食道、胃				食道・胃の構造と機能を説明できる。				
5	消化器系：小腸				小腸の構造と機能を説明できる。				
6	消化器系：大腸				大腸の構造と機能と特徴を説明できる。				
7	消化器系：肝臓、膵臓、胆嚢、腹膜				肝臓・膵臓・胆嚢・腹膜の構造と機能を説明できる。				
8	循環器系：血管				血管(動静脈、毛細血管)の構造と機能と特徴を説明できる。				
9	循環器系：心臓				心臓の位置、各部の名称、弁の機能を説明できる。				
10	循環器系：心臓、動脈系				刺激伝導系、大動脈の名称を述べることができる。				
11	動脈系：頭頸部に分布する動脈				総頸動脈から分枝する動脈の名称と機能を説明できる。				
12	動脈系：上肢、下肢、腹部に分布する動脈				上・下肢、腹部に分布する動脈の名称と機能を説明できる。				
13	静脈系：特殊循環系、胎生期の循環系				特殊循環系および胎児循環を説明できる。				
14	リンパ系				リンパ系の構造と機能を説明できる。				
15	期末試験								
〔評価について〕					〔特記事項〕				
小テスト(3回)30点満点＋期末試験70点満点 59点以下を不合格とする									

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

<b>学科・コース</b> 理学療法士科Ⅱ部	<b>学年</b>	1	<b>開講区分</b>	前期	<b>担当教員</b>			
<b>授業科目名</b>  リハビリテーション概論					田中 信一			
	<b>必修・選択</b>	必修	<b>授業形態</b>	講義	<b>時間数</b>	15	<b>授業回数</b>	8
<p>〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)</p> <p>医療人としての事象の捉え方、対応を身につけるために、リハビリテーションとは何かについて、その理念と歴史的背景、障がいの概念、リハビリテーションの過程、医療福祉制度の知識を身につける授業を臨床現場でリハビリテーションに携わっている教員が行なう。授業では、必要に応じてテーマを設定し、グループで発表を行う。理解を深めるため、積極的に参加してほしい。</p>								
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーションの定義、領域、過程を理解し、説明することができる。</li> <li>・リハビリテーションに関わる法律および制度を区別することができる。</li> </ul>								
<p>〔使用教材、参考文献等〕</p> <p>参考文献: 入門リハビリテーション概論(医歯薬出版) 理学療法概論テキスト改訂3版(南江堂)</p>								
回	〔授業概要〕			到達目標(できるようになること)				
1	リハビリテーションの理念、定義、語源			リハビリテーションの理念、定義について説明することができる。				
2	リハビリテーションの歴史 障がい者の「自立」とノーマライゼーション 医療、保健、社会福祉とリハビリテーションの関わり方			リハビリテーションの領域を区別することができる。				
3	健康と障がいの概念と障がい受容 ICIDHとICF			健康と障がいの概念と障がい受容について説明することができる。				
4	ICIDHとICFの具体例 ICIDHとICFのメリットとデメリット			ICIDHとICFの項目を区別し、要素を分類することができる。				
5	リハビリテーションに関わる法律および制度			リハビリテーションに関わる法律および制度を区別することができる。				
6	リハビリテーションにおける重要事項 インフォームドコンセント、チーム医療、EBM、個人情報保護法			リハビリテーションにおける重要事項のキーワードを説明できる。				
7	リハビリテーション現場における理学療法士			理学療法士の仕事のやりがいを説明できる。				
8	総括 定期試験			テストにより効果測定を行い、習得できていないところを把握し、理解度を深める。				
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
<p>〔評価について〕</p> <p>評価は小テストおよびオンライン試験で行う。 小テスト40% 定期試験60%</p>				<p>〔特記事項〕</p> <p>毎授業において重要事項については下線を引いたりメモをとること。 授業ごと小テストを実施する。 出席: 3コマ欠席にて単位なし</p>				



# 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース	理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	運動機能論Ⅰ		必修・選択	必須	授業形態	講義	時間数	30(2)	授業回数	15
							田中 信一			

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

人間の運動機能の基礎となる骨格と関節の基礎を理解していく。  
理学療法士を目指すものにとって、骨格、関節の構造を知ることが重要であり、三次元的な視点で個々の骨、関節の構造や位置を十分に理解しておく必要があることを念頭に受講してほしい。

〔到達目標〕

- ・骨名と各部位の名称、関節の名称を述べるができる。
- ・骨、関節の構造、形態を分類できる。

〔使用教材、参考文献等〕

解剖学 第5版 (医学書院)

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	オリエンテーション 第1章:解剖学総論 人体の大要と解剖学的用語	解剖学的位置、方向と位置を示す用語、身体の区分を述べるができる。
2	第2章:第2章:骨格 人体の骨名称 骨格 骨の構造	人体の骨の名称を述べるができる。 骨の構造を述べるができる。
3	第2章:骨格 骨学各論 胸郭、上肢帯、上腕骨(近位部)	各骨を区別できる。胸郭、上肢帯、上腕骨(近位部)の各部位の名称を述べるができる。
4	第3章:関節と靭帯 関節靭帯各論 上肢帯の連結、肩関節	上肢帯の連結、肩関節の名称を述べるができる。また、関節の形態を分類できる。
5	第2章:骨格 骨学各論 上腕骨(遠位部)、橈骨、尺骨、手根骨、手指骨	上腕骨(遠位部)、橈骨、尺骨、手根骨、手指骨の各部位の名称を述べるができる。
6	第3章:関節と靭帯 関節靭帯各論 肘関節、手根の関節	肘関節、手根の関節の名称を述べるができる。また、関節の形態を分類できる。
7	第3章:関節と靭帯 関節靭帯各論 中手の関節、指の関節	中手の関節、指の関節の名称を述べるができる。また、関節の形態を分類できる。
8	確認テスト 前半の振り返り	テストにより効果測定を行い、習得できていないところを把握し、理解度を深める。
9	第2章:骨格 骨学各論 下肢帯、骨盤	下肢帯の各部位の名称を述べるができる。骨盤の構造と性差を述べるができる。
10	第2章:骨格 骨学各論 大腿骨 第3章:関節と靭帯 関節靭帯各論 股関節	各骨を区別できる。大腿骨の特徴を述べるができる。股関節の特徴を説明できる。
11	第2章:骨格 骨学各論 脛骨、腓骨 第3章:関節と靭帯 関節靭帯各論 膝関節、足関節	各骨を区別できる。脛骨、腓骨の特徴を述べることができる。膝、足関節の特徴を説明できる。
12	第2章:骨格 骨学各論 足根骨、中足骨、趾骨 第3章:関節と靭帯 関節靭帯各論 足部の関節	各骨を区別できる。足根骨、中足骨、趾骨の各部位の名称を述べるができる。
13	第2章:骨格 骨学各論 脊柱の骨 第3章:関節と靭帯 脊柱の連結	脊柱の骨の各部位の名称を述べるができる。また、関節の形態を分類できる。
14	第2章:骨格 骨学各論 頭蓋 第3章:関節と靭帯 頭蓋	頭蓋の骨の各部位の名称を述べるができる。また、関節の形態を分類できる。
15	期末テスト 後半の振り返り	運動機能論で学習した内容のまとめを通じて、習得できていないところを把握し、理解度を深める。

〔評価について〕

小テスト、課題(20%)  
確認テスト(40%)  
期末テスト(40%)

〔特記事項〕

小テスト(または課題)は、毎回の授業で実施し、成績評価に含まれる。

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース:理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名		必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	30(2)	授業回数	15
理学療法概論									
〔授業の学習内容と心構え〕									
現在も臨床で活動している教員が以下について実施していく。理学療法に関わる実技:ストレッチ、筋トレを実技形式にて反復実践する。初期はティーチングを主とし、徐々に自ら考え実践できるように進め、技術の修得を目指す。また、理学療法についての基礎知識を座学を主とし実施していく。									
〔到達目標〕									
理学療法の定義や具体的な内容、実際の流れなどを知り、理学療法士にまつわる法律や働く環境なども含めた概要を理解する。そして、理学療法士を目指すうえで最低限必要となる知識を身につける									
〔使用教材、参考文献等〕									
シンプル理学療法シリーズ 理学療法概論テキスト 改訂第4版 南江堂 配布資料									
回	〔授業概要〕			到達目標(できるようになること)					
1	オリエンテーション スポーツと理学療法①			スポーツ傷害(外傷・障害)に対する理学療法の基礎を知り、実践できるようになる					
2	スポーツと理学療法②			スポーツ傷害(外傷・障害)に対する理学療法の基礎を知り、実践できるようになる					
3	スポーツと理学療法③			スポーツ傷害(外傷・障害)に対する理学療法の基礎を知り、実践できるようになる					
4	スポーツと理学療法④			スポーツ傷害(外傷・障害)に対する理学療法の基礎を知り、実践できるようになる					
5	スポーツと理学療法⑤			スポーツ傷害(外傷・障害)に対する理学療法の基礎を知り、実践できるようになる					
6	中間試験			現時点での知識・技術を確認し、不足している部分に対する振り返りを行うことでより理解度をUpする					
7	理学療法とは:理学療法の定義と各種技術について(+診療ガイドラインについて)			大まかな仕事内容のイメージをつける					
8	理学療法と障害:ICIDHとICFについて(+実施計画書)			理学療法の目標設定をする際に必要な障害の考え方について理解する					
9	理学療法士とは:理学療法士の役割と理学療法の対象			障害の理解ができた上で、理学療法士として求められる役割を理解する					
10	理学療法の実際の流れ(+臨床的思考について)			実際の流れを通して理学療法士の仕事をより具体的に理解する					
11	理学療法と診療報酬について:医療保険と介護保険			医療保険と介護保険について知り、理学療法に関わる報酬について理解する					
12	医療・福祉領域の現場の分類について(地域包括ケアシステムを含む)			理学療法士が活躍する医療・福祉における現場の種類を知り、それぞれの施設の特徴を理解する					
13	理学療法士にまつわる法律について			理学療法士および作業療法士法の概要について理解する					
14	期末試験および振り返り			現時点での理解度を確認し、分からない部分に対する振り返りを行うことでより理解度をUpする					
15	まとめ			理学療法についての理解度をUpする					
〔評価について〕				〔特記事項〕					
中間試験として実技試験、期末試験としてペーパーテストを行う。				授業外での実技練習を積極的に行なうことを推奨する。その際、臨床場面を想定し、実際の患者・選手を演じながら行なうことが望ましい。					

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科	理学療法士科	コース・部	Ⅱ部	学年	1	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名				必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	60(4)	授業回数	30
運動学											
<p>〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)  5年間の臨床経験(回復期・急性期)を持つ理学療法士が講義を行う。理学療法士になるにあたって、必要な運動の知識をバイオメカニクス、解剖学、生理学などの多くの観点より授業を行う。  毎授業、しっかり復習を行い、必要な知識を身につけるようにしてもらいたい。</p>											
<p>〔到達目標〕</p> <p>1)運動の基礎理論・生体の構造と機能に関するキーワードに慣れ、理解に繋げる。  2)生体の運動が生じるメカニズムを関節ごとに理解していく。</p>											
<p>〔使用教材、参考文献等〕  基礎運動学(医歯薬出版)</p>											
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)					
16	手指の運動学2					手関節背屈・底屈・橈屈・尺屈に作用する筋肉を覚える					
17	手指の運動学3					手指の屈曲に作用する筋肉を覚える					
18	手指の運動学4					手指の伸展に作用する筋肉を覚える					
19	上肢の運動学まとめ1					上肢に係る運動についてグループワークを通して学習を深める					
20	上肢の運動学まとめ2					上肢に係る運動についてグループワークを通して学習を深める					
21	上肢の運動学発表					肩関節の運動についてわかったこと、覚える必要のあるものを発表する(授業内課題25点分:発表10点・小テスト提出15点)					
22	体幹の運動学1					体幹の解剖学的構造と運動を覚える					
23	体幹の運動学2					体幹の屈曲・伸展運動に作用する筋肉を覚える					
24	体幹の運動学3					体幹の側屈・回旋運動に作用する筋肉を覚える					
25	体幹の運動学4					体幹の呼吸に作用する筋肉を覚える					
26	体幹の運動学まとめ1					体幹に係る運動についてグループワークを通して学習を深める					
27	体幹の運動学まとめ2					体幹に係る運動についてグループワークを通して学習を深める					
28	体幹の運動学発表					体幹の運動についてわかったこと、覚える必要のあるものを発表する(授業内課題25点分:発表10点・小テスト提出15点)					
29	期末試験					前期に学んだ内容の復習としてテストを行い、覚えられていないことの抽出を行う					
30	テスト返しと復習					テストを通して出来なかったところを抽出し復習を行う					
〔評価について〕 評価は発表点と筆記試験で行う。 授業内課題(50点)期末テスト(50点)						〔特記事項〕 毎授業において重要事項については下線を引いたりメモをとること。 必要に応じ配布プリントによる授業を行なう。					

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科	理学療法士科	コース・部	Ⅱ部	学年	1	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名				必修・選択	必修	授業形態	講義	鈴木広大			
運動学								時間数(単位)	60(4)	授業回数	30
<p>〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)</p> <p>5年間の臨床経験(回復期・急性期)を持つ理学療法士が講義を行う。理学療法士になるにあたって、必要な運動の知識をバイオメカニクス、解剖学、生理学などの多くの観点より授業を行う。 毎授業、しっかり復習を行い、必要な知識を身につけるようにしてもらいたい。</p>											
<p>〔到達目標〕</p> <p>1)運動の基礎理論・生体の構造と機能に関するキーワードに慣れ、理解に継げる。 2)生体の運動が生じるメカニズムを関節ごとに理解していく。</p>											
<p>〔使用教材、参考文献等〕</p> <p>基礎運動学(医歯薬出版)</p>											
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)					
1	オリエンテーション 身体運動の面と軸、運動の種類					運動学で学ばなければならない内容を、理解することができる					
2	生体力学の基礎 テコ モーメント 単位 ベクトルなど					運動を理解するうえで必要な運動の名称や力学などを覚える					
3	運動学習					運動を学習する仕組みを覚える					
4	骨格筋構造学					筋肉の構造や収縮の仕組みを覚える					
5	肩関節の運動学1					上肢の解剖学的構造と運動の名称などを覚える					
6	肩関節の運動学2					肩甲骨の挙上・下制・内転・外転の運動に作用する筋肉を覚える					
7	肩関節の運動学3					肩甲骨の上方回旋と下方回旋の運動に作用する筋肉を覚える					
8	肩関節の運動学4					肩関節屈曲・伸展運動に作用する筋肉を覚える					
9	肩関節の運動学5					肩関節外転・内転運動に作用する筋肉を覚える					
10	肩関節の運動学6					肩関節外旋・内旋運動に作用する筋肉を覚える					
11	肩関節の運動学7					肩関節水平屈曲・水平伸展運動に作用する筋肉を覚える					
12	肘関節の運動学1					肘関節の解剖学的構造と運動を学ぶ					
13	肘関節の運動学2					肘関節屈曲・伸展運動に作用する筋肉を覚える					
14	肘関節の運動学3					前腕の回内・回外運動に作用する筋肉を覚える					
15	手指の運動学1					手指の解剖学的構造と運動を覚える					
〔評価について〕 評価は発表点と筆記試験で行う。 授業内課題(50点)期末テスト(50点)					〔特記事項〕 毎授業において重要事項については下線を引いたりメモをとること。 必要に応じ配布プリントによる授業を行なう。						

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース 理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	後期	担当教員			
授業科目名						岩佐 浩之 先生			
心理学		必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	30(2)	授業回数	15
<p>〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)</p> <p>創業100年の老舗の三代目として、飲食店を経営し、また多岐にわたりビジネスを立ち上げ(国内・インド・フィリピン・中国・モルディブ・タイなど)現在に至る。流通業界では様々な仕入れ販売の経営経験を持ち、一部上場企業メーカー勤務では、製造から営業までを経験する。現在3社を経営し介護施設の理事を務めるカウンセラーが心理学をわかりやすく講義します。</p>									
<p>〔到達目標〕</p> <p>理学療法士として必要・不可欠な人体の成り立ちや携帯・構造に関する基礎的知識を学ぶ 自分とのコミュニケーション・1対1のコミュニケーション・1対多グループコミュニケーションを学び、活用できるようになる。</p>									
〔使用教材、参考文献等〕 毎回の授業で配布					〔準備学習・時間外学習〕 世の中の動きを見て質問する				
回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)							
1	目標設定・講師自己紹介・オリエンテーション15回の流れ	目標設定の仕方・目標とは何かを理解する。 目標を立てられるようになる。							
2	人脈	人脈の作り方・整理の仕方を学ぶ。 自分の人脈を整理する。							
3	経済的健康 その1 収入の種類	・従業員 ・自営業 ・オーナー ・投資家など収入の種類を理解する。							
4	目標達成の仕方	①情報 ②モチベーション ③イメージ ④願望 15のステップ一つ一つを理解する。							
5	目標達成の仕方	⑤決断する ⑥目標設定 ⑦プランを立てる ⑧夢泥棒⑨仲間探し 15のステップ一つ一つを理解する。							
6	精神的健康	心の病気について知り、対処法を身に付ける							
7	身体的健康	病気のメカニズム・対処法を身に付ける。							
8	心理テスト	エゴグラムの実施 自分の心の癖を知る。							
9	マーケティング(流通心理学)・マネジメント	自分自身を社会にどう売り出していくか学ぶ							
10	マーケティング(流通心理学)・マネジメント	様々なマーケティングの基本理論を学ぶ							
11	マーケティング(流通心理学)・マネジメント	様々な企業のマーケティングを学ぶ							
12	コトラー心理学	コトラー心理学の基本を学び、自分の考え方に取り入れる							
13	スティーブン・コーヴィ	7つの習慣を中心に、考え方の基本を学び、いつか使えるようになる。							
14	質疑応答	稲盛和夫の考え方を学ぶ。							
15	定期テスト								
〔評価について〕 期末試験50% 小テスト50%で59%以下を不合格とする					〔特記事項〕 一コマは、ジグソーパズルのワンピースのようなものです。欠席した際は、情報を取って補ってください。				

## 2023年度 シラバス

東京メディカル・スポーツ専門学校

学科・コース	理学療法士科Ⅱ部		学年	1	開講区分	後期	担当教員			
授業科目名	リハビリテーション医学		必修・選択	必修	授業形態	講義	時間数(単位)	30(1)	授業回数	15
							松田 輝洋			

## 〔授業の学習内容と心構え〕

臨床、地域リハビリテーション支援事業、国家試験予備校講師などに携わる理学療法士による講義で、疾病や外傷から派生する障害を正しく理解し、的確に障害へのリハビリテーションアプローチを選択できるようになるため、必ず復習をすること。

## 〔到達目標〕

2025年、団塊の世代が75歳以上となり医療・介護の需要が今以上に加速します。我が国の現状と制度を理解する。リハビリテーション医学の対象である疾患から派生する障害を理解する。その障害に対するリハビリテーションアプローチを理解する。

## 〔使用教材、参考文献等〕

リハビリテーション医学〔羊土社〕、配布資料

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	オリエンテーション・リハビリテーション医学・医療の概要	国の現状を知る、障害、地域包括ケアシステム、介護保険など
2	・リハビリテーション医学 予防・廃用症候群	廃用症候群がリハビリテーション医療において重要視されている理由を理解できる。
3	・リハビリテーション医学 Frailty	Frailty、Sarcopenia、Locomotive syndromeが理解できる。
4	・リハビリテーション医学 エネルギー代謝	無酸素性エネルギー代謝、有酸素性エネルギー代謝が理解できる。
5	・リハビリテーション医学 エネルギー代謝	ケトン体 筋線維
6	・リハビリテーション医学 栄養	リハビリテーション栄養について理解できる
7	リハビリテーション医学疾患 脳神経	脳神経12対を理解できる。
8	中間テスト 解説	テストにより効果測定を行い、習得できていないところを把握し、理解度を深める。
9	リハビリテーション医学疾患 慢性腎臓病(CKD)	腎機能、糖尿病、透析治療、リハビリテーションが理解できる。
10	リハビリテーション医学疾患 慢性腎臓病(CKD)	腎機能、糖尿病、透析治療、リハビリテーションが理解できる。
11	・リハビリテーション医学 薬理学	リハビリテーション薬理学について理解できる
12	・リハビリテーション医学 薬理学	リハビリテーション薬理学について理解できる
13	リハビリテーション医学疾患各論 姿勢・歩行	抗重力姿勢や歩行周期が理解できる。
14	リハビリテーション医学疾患各論 がん	良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、がん患者に対するリハビリテーションを理解できる。
15	期末テスト 解説	テストにより効果測定を行い、習得できていないところを把握し、理解度を深める。

## 〔評価について〕

評価は筆記試験で行う。  
筆記試験は中間テスト(50点)と期末テスト(50点)の合計100点で評価する。評価は学則規定に準ずる。

## 〔特記事項〕

毎授業必要に応じ配布プリントによる授業を行なう。